



せきなん

令和8年度 夏休み前号
令和8年7月17日発行
武蔵野市立関前南小学校
校長 曾我 泉



学校ホームページ
QRコード

「一人一人の夏休み」

校長 曾我 泉

終業式を迎えました。夏休みになります。子供たちが、家庭・地域で過ごす時間が長くなります。学期中は時間に合わせて行動したり、先生がコーディネートする中で過ごしたり、学級を中心としたコミュニティで学びをすすめてきました。教職員は「(子供自身が)自分でできること」を増やすために、やって見せたり、一緒にやったり、練習をしたり、見守ったりしてきました。高学年は、学習計画を自分で立て、計画に合わせて自己調整をしながら学びをすすめていくスタイルの学習を増やしてきました。

夏休みは、夏休みだからこそできることがたくさんあることでしょう。夏休みこそ、自分でできることを増やしてほしい時期です。そうはいても子供たちによって様々です。

一人一人の子供たちが自分に合わせた方法で力を蓄える夏休みになることを願っています。

ひかり輝け この広場から



【関前アドベンチャー】

関前アドベンチャーに多くの保護者の皆様にお客さんとしてご参加いただきました。ありがとうございました。

関前アドベンチャーは、1～6年生の縦割り班で取り組みます。6年生をリーダーとしてみんなで作ります。同じ遊びでも、グループによって工夫が違います。

同じところは、一人一人が役割をもち、**責任**をもち取り組んだところです。準備の時には、それぞれの仕事分担をどんどん自分で考えて**(前向きに)**進めていきました。当日、宣伝係は、声をからすほど何度も校内を歩き回りました。案内係は、混雑状況によって、お客さんに声掛けを変えました。記録係は、どんどん塗り替わる記録を見やすく記録しました。うまくいかずに、その場で対応を変えたことや困ったこともたくさんありました。

でも、昨年度、もっと遊びたかったと泣いていた子が、下級生に、やさしく説明する姿を見ると、子供たちは確実に一歩すすんでいるんだなとうれしくなりました。子供たちが、自らの力で成長する**(未来へ)**力がたくさん見られた関前アドベンチャーでした。

開かれた学校づくり協議会 ビオトープ改善活動はじめます

開かれた学校づくり協議会で話題になった「ビオトープの改善活動」を始めることになりました。7月25日(土)に「かいぼり(泥の掘り出し作業)」を行います。

「かいぼり」を行うことで、一定の水深を確保し、池底を生息場所とするザリガニやメダカなどの水生生物の生息場所をある程度わけることが期待されます。今回の「かいぼり」は、池の水をぬかずに泥をすくいあげる作業です。

25日(土)10:00～ ビオトープで作業します。(天候によって変更します)



準備は、自分の
分担をどんどん
すすめます。

途中で、声を掛
け合い、変えて
いきます。



みんなが、自分
の役割をもち、
活動します。

